



**Q** 私の実家(二戸建て)では、ヤシチヌウグワン(屋敷の御願)をきちんと行っていました。嫁いで今は分譲マンションが住まいですが、マンションのように土地のない住まいでは、どのようにヤシチヌウグワンを行ったらよいのでしょうか？  
(浦添市・Nさん40代女性)

**A** 旧暦2月に、住んでいる屋敷の神(ヤシチガミ)に日頃の感謝と家内安全を祈願するヤシチヌウグワン(屋敷の御願)という年中行事があります。ほかにも旧暦8月10日前後のシバサシ(柴差し)、旧暦12月24日のウグワンブトウチ(御願解き)にも行われます。ご質問の様に「土地のない住まい」でのヤシチヌウグワンについては、多くの方が疑問を持たれていることでしょうか。どのようにすればよいか考えてみましょう。

**屋敷の解釈**

屋敷の解釈としては次の二つが主なものになります。一つは**屋敷Ⅱ家屋(屋)＋敷地(敷)**という考え方で、この解釈でいけば屋敷は敷地が前提になりますから、2階以上に敷地(土地)に該当するものがない共同住宅の場合は行う必要がないということになります。また、共同住宅なので、個人で行う必要はないという考え方もあるでしょう。そ

れもある意味、理に適った考え方といえます。

一方、**部屋Ⅱ部分(部)＋屋敷(屋)**という考えもあります。直接地面に接していなくてもその土地の上に部屋(住宅)があることは間違いありませんから、畳や床を敷地と敬い、各部屋(住宅)が個別に年中行事を通常と同じく行うということです。

質問の趣旨も、前者によるものがあつたと思われませんが、今回はヤシチヌウグワンを行うという前提で、沖縄で広く行われている一例を回答させていただきます。

**四方(北・東・南・西)の方位を定める**

マンションでのヤシチヌウグワン(屋敷の御願)の作法は、室内のそれぞれの角にお膳やお盆を置き、その中にお塩とお米をまき祈願するという作法になります。また順番も重要で、最初に行う方位から時計回り、または逆回り(地域によって異なる)と決められていますから、まずはそれぞれの方位を確認する必要があります。

今回は、LDK(リビング・ダイニングキッチン)が北側、主寝室が東側、玄関が南側、こども部屋が西側にある3LDKのマンションで想定してみましよう。実際に行う場合は、自宅の間取りに合わせて行ってください。仏式の場合、

方位にこだわらないこともあります。

沖縄では、北の方位を二一ヌファ(子の端)、東の方位をウーヌファ(卯の端)、南の方位をシヌヌファ(午の端)、西の方位をトウイヌファ(酉の端)といい、干支に合わせ北(子)・東(卯)・南(午)・西(酉)の順に表記しています。よく、起工式のティンダティの際に、「北東南西の方位が、土地の角に正しく当てはまらない」との質問を受けますが、正確な方位にこだわる必要はありません。屋外では土地、屋内では部屋の角(端)が優先されますから、その方位の右側にある土地や部屋の角(端)が、ヤシチヌウグワンなどでは、北・東・南・西と見なすことになっていきます。これは、ヒジヤイヌウグワン(左の御願)の作法に倣い、向かって右側(土地や部屋の左側)が上座になることに由来しています。

今回のマンションでは、それぞれの方位を次のように見なすこととなります。

- 【北の方位】 LDKの北側の角(端)
- 【東の方位】 主寝室の東側の角(端)
- 【南の方位】 玄関の南側の角(端)
- 【西の方位】 こども部屋の西側の角(端)

実家のヤシチヌウグワンが、干支を基準にして北の二一ヌ

ファから時計回り(逆回りのことでもあります)に始まる場合は

LDK ↓ 主寝室 ↓ 玄関 ↓ こども部屋の手順になります。太陽の日の出を基準とした、東のウーヌファから時計回りに始まる場合は

主寝室 ↓ 玄関 ↓ こども部屋 ↓ LDKの手順になります。いずれも、仏壇、ヒヌカン、床の間・フル(お手洗い)、ウジョー(門)を追加する場合は、地域や家庭の作法に従います。

生活スタイルの変化に合わせて建物も大きく様変わりしましたが、沖縄のしきたりや、しっかりと次世代に継承されていくべきものです。

